

ごあいさつ

本校は、昭和35年4月に甲府市内で5番目の市立中学校として開校され、64年に及ぶ長い歴史と伝統を有する学校になります。本校を卒業した生徒は、令和5年度末で18,573名となり、保護者の中には本校の卒業生の方も少なくはありません。

学校教育目標は「たくましい心と体をもち 豊かに学び合う生徒の育成」、サブテーマを「さわやかな挨拶とマナー、全ての生徒にとって居場所のある学校づくりを通して」とし、新たな気持ちでスタートを切りました。また、昨年度は甲府市内小中学校で「学校運営協議会」が発足・運営されました。本校でも、生徒の健全育成に向け「学校」「家庭」「地域」が声をかけ合い、協力・連携しながら教育活動を展開していきますので、ご協力をお願いします。

学校経営では、具体的な柱を6本あげてあります。その中でも今年度は、次の点に重点を置いて取り組んでいきたいと考えています。

- 特別支援教育の充実…通級指導教室「サポートルームなでしこ」との効果的連携
- 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた組織的な授業改善…ICTを効果的に活用した授業づくり、子どもが主体となる授業スタイルの構築、一人一台端末の有効活用
- 不登校(いじめ)への組織的な対応…ケース会議の開催と専門機関との連携、校内教育支援センター「ほっとルーム」の効果的運用
- 地域とともにある学校づくり…学校運営協議会による、地域とともにある学校づくり

全国的な教育課題とされる特別支援教育の充実や不登校対策において、通級指導教室「サポートルームなでしこ」や校内教育支援センター「ほっとルーム」を生かして、昨年度以上にきめ細やかに支援体制をつくり、全ての生徒にとって居場所のある学校づくりを行うことにより、課題解決に向け取り組んでいきたいと考えています。

学力の育成につきましては、一人一台端末の効果的な活用も含めた「わかった」「できた」を実感できる授業の実践に取り組めます。さらに、一人一台端末の持ち帰りによる家庭学習の推進と基礎学力の定着に継続・計画的に取り組んでいきます。

地域との連携では、コロナ禍前に少しずつ戻っていく中で、職業体験や地域人材の活用、石田小学校・国母小学校との連携した活動等、学校運営協議会やPTA、地域との情報共有を図りながら、活動を実践していきます。

本年度は、全校生徒211名、全職員37名でスタートしました。生徒一人ひとりが安心して充実した学校生活を送れるように、全員が「チーム南西」として取り組んでまいります。保護者や地域の方々にも、ご理解とご協力をいただき、地域の宝であり、私たちの未来でもある子どもたちの健全な成長を、共に支えていただければと思っております。一年間、よろしく願いいたします。



令和6年4月 甲府市立南西中学校長 大森 竹仁